

北九州市のまちづくり

北九州市では、今後の市の目指す都市像や重点戦略を掲げた基本構想、及びその実現に向けた主要な政策を体系的に掲げた、2040年を目標年次とする基本計画を令和6年（2024年）3月に策定しました。

北九州市が目指す都市像

つながりと情熱と技術で、「一步先の価値観」を体現する
グローバル挑戦都市・北九州市

目指す都市像の実現に向けた3つの重点戦略

目指す都市像の実現に向けて、次の3つの重点戦略とその戦略に基づく主要な政策を掲げています。

I 「稼げるまち」の実現

II 「彩りあるまち」の実現

III 「安らぐまち」の実現

まずは都市の経済力を高める「稼げるまち」の実現に取り組み、これを起点として、魅力的な街並みやスポーツ、芸術、文化、観光、教育などを充実させ、生活に潤いを与える「彩りあるまち」を実現していきます。

これらの実現による「成長の果実」をもって、すべての市民の安全・安心な暮らしを支える「安らぐまち」の実現につなげ、まちも人も潤う「成長と幸福の好循環」を創り出し、都市の総合力を高めていくこととしています。



戦略に基づく主要な施策

I 「稼げるまち」の実現

1. 稼げる「基盤」をつくる

- (1)陸・海・空のネットワークの構築
- (2)メガリージョンの推進
- (3)新たな産業用地などの創出

2. 稼げる「人」を育む

- (1)スタートアップの創出・成長
- (2)若者チャレンジへの支援
- (3)性別にかかわらずキャリア形成の支援
- (4)多様な人材が働くことができる環境の整備

3. 稼げる「産業」をつくる

- (1)「バックアップ首都構想」の推進
- (2)成長の芽となる「未来産業」の振興
- (3)「北九州グリーンインパクト」の推進
- (4)物流拠点構想の推進
- (5)生産性向上・高付加価値化の推進
- (6)アジアの社会課題解決への貢献と国際ビジネスの推進

II 「彩りあるまち」の実現

1. 彩りある「空間」をつくる

- (1)都市の魅力を高める「街並み」づくり
- (2)選ばれる「住まい環境」づくり
- (3)デジタルによる「迅速で便利・快適な環境」づくり
- (4)人や企業を呼び込む「都市の魅力」の発信

2. 彩りある「時」をつくる

- (1)文化芸術やスポーツの振興
- (2)エンターテインメントによるにぎわいづくり
- (3)観光資源の磨き上げや発信の推進

3. 彩りある「人」を育む

- (1)グローバル人材や理工系人材の育成に向けた教育の推進
- (2)魅力ある新時代の教育機関の誘致
- (3)将来の可能性を開く教育環境の充実
- (4)大学などの教育・研究機能の充実

III 「安らぐまち」の実現

1. 生活基盤の「安心」を支える

- (1)災害などに強いまちづくりの推進
- (2)犯罪のないまちづくりの推進
- (3)社会環境やニーズに即した都市基盤・施設の維持

2. 暮らしの「安心」を支える

- (1)多様性を認め合う文化のまちづくり
- (2)誰もが安心して暮らせる環境づくり
- (3)地域医療提供体制や保健衛生管理体制の充実
- (4)地域におけるコミュニティ活動などの活性化
- (5)生涯現役に向けた健康づくりや社会参加の推進

3. 子ども・子育ての「安心」を支える

- (1)安心して生み育てることのできる環境の整備
- (2)子どもの健やかな成長への支援

若松区のまちづくり

若松区のポテンシャル

若松区は、かつて筑豊炭田の石炭積出港として栄え、日本の産業発展を支えてきました。現在は高い港湾・物流機能などを背景に、製造業に係る企業が多く立地するとともに、環境産業や再生可能エネルギー産業の集積が進んでいます。また、北九州学術研究都市では先端科学技術の教育や研究活動が行われています。

さらに、周囲を響灘と洞海湾に囲まれ、中央部は広く緑に覆われるなど、豊かな自然に恵まれており、水産物や農産物の生産も盛んな地域で、観光地としてのポテンシャルも有しています。

若松区のまちづくりの方向性

若松区では高いポテンシャルを活かし、区民が誇りと生きがいを持ち、誰もが住みたい・住み続けたいと実感するまちの実現に向け、

自然と新しい産業が共生する、サステナブル（持続可能）なまち

をまちづくりの目標に掲げ、市の基本構想・基本計画に掲げられている3つの重点戦略を柱としてまちづくりに取り組んでいきます。

○稼げるまち

高い港湾・物流機能などを背景に、製造業に係る企業が多く立地するとともに、環境産業や再生可能エネルギー産業の集積が進んでおり、今後も、響灘地区での風力発電関連産業の総合拠点化などが進んでいきます。また、北九州学術研究都市では半導体や宇宙・次世代自動車などの未来産業の振興に向け、研究開発の強化などに取り組めます。

○彩りあるまち

若松北海岸の豊かな自然や周辺の魅力的な食、アクティビティ、高塔山や若松南海岸の夜景などを活用し、市内外から多くの人を訪れる観光地として、さらなる魅力の向上を図ります。

また、区内の様々な事業者と連携し、これらの魅力の発信に取り組めます。

○安らぐまち

防災や防犯のまちづくり、社会インフラの維持など生活基盤の安心を支えるとともに、地域のコミュニティ活動などの活性化に取り組み、誰もが安全・安心に暮らせる環境づくりを進めます。

また、育児や子どもの成長を地域全体で支えるまちづくりや、誰もがいきいきと輝きうるおいのある暮らしができるまちづくりに取り組めます。

3つの重点戦略に基づく主な事業・取組

I 「稼げるまち」の実現

1. 稼げる「人」を育む	
(1)若者チャレンジへの支援	◆高校生による企業見学会の実施 ◆子ども向けの仕事体験イベントの開催
(2)性別にかかわらずキャリア形成の支援	◆ジェンダーの平等に向けた取組
2. 稼げる「産業」をつくる	
(1)成長の芽となる「未来産業」の振興	◆北九州学術研究都市の整備
(2)「北九州グリーンインパクト」の推進	◆北九州市地域エネルギー拠点化推進事業 ◆グリーンエネルギーポートひびき事業 ◆響灘エコフロンティアパーク ◆次世代エネルギーパーク（低炭素） ◆北九州エコタウン事業（資源循環） ◆響灘・鳥がさえずる緑の回廊創生事業（自然共生）

II 「彩りあるまち」の実現

1. 彩りある「空間」をつくる	
(1)都市の魅力を高める「街並み」づくり	◆おもてなしの道づくり ◆中央分離帯の防草対策
(2)選ばれる「住まい環境」づくり	◆北九州学術研究都市の整備【再掲】 ◆地域に役立つ公園づくり事業
(3)人や企業を呼び込む「都市の魅力」の発信	◆若松プロモーション ◆区の特徴や魅力をアピールできる集客イベントの展開 ◆区役所転入職員研修の実施
2. 彩りある「時」をつくる	
(1)文化芸術やスポーツの振興	◆若松鉄人ジャズ
(2)観光資源の磨き上げや発信の推進	◆高塔山の魅力づくり ◆若戸大橋ライトアップ ◆高塔山のアクセス道路の整備 ◆高塔山の夜景PR ◆クルーズ船誘致・受入事業 ◆若松北海岸の自然を活かした体験型・滞在型観光の促進事業 ◆「わかまつインフォ」による情報発信
3. 彩りある「人」を育む	
(1)大学などの教育・研究機能の充実	◆北九州学術研究都市の整備【再掲】

Ⅲ 「安らぐまち」の実現

1. 生活基盤の「安心」を支える	
(1)災害などに強いまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆総合的な空き家対策の推進 ◆自主防災活動の支援 ◆消防団活動 ◆避難行動要支援者避難支援事業 ◆宅地防災月間 ◆防災ガイドブックの改訂・配布 ◆消防分署の整備 ◆感染症対策を考慮した災害時の避難所運営
(2)犯罪のないまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆生活安全パトロール隊、地域防犯パトロール「みまもり隊」等 ◆防犯灯の維持管理及び設置の支援 ◆防犯カメラの設置支援 ◆暴力追放運動 ◆二セ電話詐欺被害防止の推進 ◆若松区防犯協会連合会の活動
(3)社会環境やニーズに即した都市基盤・施設の維持	<ul style="list-style-type: none"> ◆橋梁補修及び幹線道路の整備 ◆下水道管の更正工事
2. 暮らしの「安心」を支える	
(1)誰もが安心して暮らせる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◆若松あんしんネットワーク ◆いのちをつなぐネットワーク事業 ◆生活困窮者自立支援事業 ◆まちかど介護相談室 ◆若松探索ネットワーク ◆ふれあい昼食交流会 ◆迷惑行為防止活動の推進 ◆交通安全の推進 ◆交差点の交通安全対策 ◆通学路等の安全対策 ◆ボランティア日本語教室の運営
(2)地域医療提供体制や保健衛生管理体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆食中毒感染症予防・生活衛生各種相談
(3)地域におけるコミュニティ活動などの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域活動の拠点づくり ◆自治会の活動 ◆募金活動等 ◆民生委員・児童委員の活動 ◆環境衛生活動等の支援 ◆若松区社会福祉協議会の活動 ◆校区まちづくり支援事業 ◆まちづくりステップアップ事業 ◆若松区ボランティア連絡協議会
(4)生涯現役に向けた健康づくりや社会参加の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆若松市民塾 ◆市民センターにおける生涯学習事業 ◆若松区文化祭 ◆若松区吹奏楽合同演奏会 ◆地域でGO!GO!健康づくり ◆健康づくりアプリ事業 ◆特定健診 ◆各種がん検診 ◆健康教室・相談事業 ◆高齢者地域交流支援通所事業 ◆食生活改善推進員 ◆健康づくり推進員 ◆区民医学講座 ◆あるき i n g ◆健康づくりを支援する道路整備事業 ◆スポーツ・レクリエーション活動
3. 子ども・子育ての「安心」を支える	
(1)安心して生み育てることのできる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ◆妊産婦・乳幼児を対象にした保健指導・健康教室・相談事業 ◆保育サービスコンシェルジュ事業 ◆若松区親子ふれあいルーム
(2)子どもの健やかな成長への支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆子育て親育ちのまちづくり(家庭教育) ◆学校・家庭を支える地域活動の推進(地域の教育) ◆健やかでたくましい子どもを育てるまちづくり(青少年健全育成)

【参考】北九州市基本計画 <<若松区関係部分の抜粋>>

4 若松区



若松区は、かつては筑豊炭田の石炭積出港として栄え、日本の産業発展を支えてきました。現在は高い港湾・物流機能などを背景に、製造業に係る企業が多く立地するとともに、環境産業や再生可能エネルギー産業の集積が進んでいます。

周囲を響灘と洞海湾に囲まれ、中央部は広く緑に覆われるなど、豊かな自然に恵まれており、水産物や農産物の生産が盛んな地域です。

(1) まちづくりの方向性

○石炭積出港として栄えた歴史や文化、豊かな自然や農水産物、多種多様な産業の集積など、若松ならではの多様な魅力を生かし、シビックプライドの醸成を図るとともに、誰もが住みたい、住み続けたいと実感できるまちをつくります。

○若松北海岸の豊かな自然や周辺の魅力的な食、アクティビティ、高塔山や若松南海岸の夜景などを活用し、市内外から多くの人々が訪れる観光地として、さらなる魅力の向上を図ります。

○物流機能の強化や環境産業などの集積を図るとともに、響灘地区での風力発電関連産業の総合拠点化や水素の供給・利活用の拠点化などを推進します。また、半導体や宇宙・次世代自動車などの未来産業の振興に向け、学術研究都市における研究開発強化などに取り組みます。

(2) 参考とした市民の皆様のご意見

- ・豊かな自然やグリーンパーク、海、海岸線、地域住民の結束、若松好きが多いこと、美味しい野菜(トマト・キャベツ)など、いろいろな魅力がある。
- ・北海岸を中心にした自然や海産物、野菜のほか、果物の収穫体験、自然体験などを生かしたアクティブな体験型観光地ができると良い。
- ・若松北海岸がコートダジュールの様なリゾート地になってほしい。
- ・南海岸には建築遺産が多くあり、観光資源になる十分なポテンシャルがあると感じる。
- ・歴史のある企業や施設がたくさんあり、地元の人同士のつながりが強い。

(3) 地域資源・ポテンシャル

①産業

製造業が盛んで、特に響灘地区には、広大な産業用地や充実した港湾施設、アジアへの近接性といった優位性から、多くの企業が立地しています。また、北九州エコタウンには数多くのリサイクル関連産業が集積するとともに、近年は、太陽光や風力、バイオマス発電などの再生可能エネルギーの産業拠点化も進んでいます。

②北九州学術研究都市

区西部にある北九州学術研究都市は、アジアに開かれた学術研究拠点及び新たな産業の創出と技術の高度化を支える知的基盤として開設され、北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学、福岡大学のほか、様々な研究機関などが一つのキャンパスに集積しています。

ここを拠点に、半導体や自動車、ロボット、AI、環境といった様々な分野において、産学の連携による新技術の開発や新たなビジネスの創出のほか、海外の大学との交流や連携、留学生の支援など、グローバルな視点での教育・研究活動が行われています。

③観光・歴史・文化

若松南海岸通りには歴史的な建築物や産業遺産が数多く現存しています。国の重要文化財である若戸大橋とあわせて、日本一の石炭積出港として栄えた名残を感じる美しい街並みを形成しています。

こうした景色や豊かな自然を背景に、若松が生んだ芥川賞作家である火野葦平の作品「花と龍」をはじめ、数多くの映画のロケが行われています。

また、「五平太まつり」など、地域の歴史や伝承を伝える祭りが盛んな一方、九州ジャズ発祥の地として、ジャズによるまちおこしも行われています。

④自然

玄海国立公園に指定されている若松北海岸には夕日の名所として知られる遠見ヶ鼻や千畳敷のほか、市内で唯一の海水浴場があり、海水浴、釣り、マリンスポーツなどを楽しむ人たちがにぎわっています。さらに周辺には地場産品の販売施設やホテル、グランピング施設に加え、響灘緑地（グリーンパーク）や響灘ビオトープ、気軽に農業体験ができる観光農園などがあり、多様なアクティビティを楽しめます。

そのほか、高塔山は、桜やアジサイ、夜景の名所として知られ、昼夜を問わない人気の観光スポットとなっています。



⑤食



西日本有数の生産量を誇るキャベツをはじめ、ブロッコリー、スイカなどの農産物の生産が盛んです。また、響灘海域は、魚介・海藻類の宝庫となっています。「若松潮風®キャベツ」や「若松水切りトマト」、「若松妙見かき」などはブランド化され、その品質を高く評価されています。

ほかにも区内で栽培されたブドウを使ったワインや若松産ホップを使った地ビールを造る活動も行われています。